

平成28年10月24日

第16回地域経営学会研究会のご案内

地域経営学会は、会員皆さまのご協力により、過日北海道で第15回研究大会を開催し多くの研究及び実践に関する収穫を得たところです。現在は、北海道、青森、東京及び米国、台湾に支部がありますが、徐々に内容も充実し、会員数も増え、海外からの研究提携依頼も出てきています。今後、海外の研究者、実践者とのネットワークを強化し、グローバルな観点から実践的な研究を続けていきます。

「第16回地域経営学会研究会」は、下記の内容で開催する予定です。研究会の統一テーマは『「地域価値の創造」に向けて～国際観光の視点から』とします。国内では、2020年の東京オリンピック開催を念頭に、海外観光客年間4000万人を目指した取り組みを始めています。青森市では昨年、国際会議観光都市の認定を受け、MICE（会議、展示等を通じた観光振興）の観点から海外観光客の招致活動を進めています。

地域価値を高め理想的な地域経営を行っていくために、どう国際観光を進めていけば良いか、観光政策の報告をもとに、地域経営を実践されている方々、ボランティア、市民及び研究者との「青森市の地域特性・地域資産を活用した地域価値の創造に向けたフォーラム～八甲田山・モヤヒルズの冬季国際観光振興」を開催することにしています。

今回八甲田山・モヤヒルズをメインに持ってきているのは、ウィンタースポーツにおいて、近年八甲田山が海外から高い評価を得てきており、その麓であり第3セクターを擁するモヤヒルズの振興と併せ、地域経営の観点から検討することが有意義であると考えたためです。

ぜひ、多くの皆様方のご参加をお願いします。

地域経営学会会長・青森支部長
遠藤 哲哉

記

日時：平成28年10月29日(土)13:30～18:00（現地視察 30日(日)AM）
会場：青森公立大学大学院棟 1212 教室他

第1部 研究・フォーラム

(1) 研究会

13:30～13:40

開会の挨拶 第16回地域経営学会研究会準備委員長

13:40～14:40

「青森市国際観光ビジョンと八甲田山・モヤヒルズ国際観光開発」に向けて

大久保文人（青森市経済部交流推進課長）

「青森市の訪日外国人の受入れに向けた環境整備について」

蝦名正晴（八甲田ロープウェイ㈱ 取締役・常務執行役員）

「八甲田の国際観光、課題と今後の展望」

14:40~15:00 コメント (各10分)

「地域経営学構築の視点から」

藤永 弘 (地域未来総合研究所長・日本学術会議連携会員・札幌学院大学名誉教授)

「国際観光開発の視点から」

遠藤 哲哉 (地域経営学会会長・青森公立大学大学院教授)

15:00~15:15 休憩

15:15~16:50

(2) フォーラム「地域価値の創造に向けて～八甲田・モヤヒルズ、中心・周辺市街地活性化を踏まえた国際観光開発の方策」

モデレーター：青森公立大学研究者

パネリスト：

大久保文人 (青森市経済部交流推進課長)

大川原儀明 (青森朝日放送)

蝦名正治 (ホテル青森社長)

蝦名正晴 (八甲田ロープウェイ(株) 取締役・常務執行役員)

工藤朝彦 (青森市国際交流ボランティア協会会長)

葛西右文 (青森観光バス(株) 営業次長統括運航管理)

川田栄子 (東横イン 支配人) (予定)

名越隆雄 (税理士 グアテマラ名誉領事) (予定)

藤永 弘 (地域未来総合研究所長・日本学術会議連携会員・札幌学院大学名誉教授)

遠藤哲哉 (地域経営学会会長・青森公立大学大学院教授)

17:00~18:00

(3) 自由論題 研究報告

岩淵 護 (青森大学准教授)

昆 忠彦 (青森公立大学大学院博士後期課程)

18:30~20:00

青森市内 夕食・交流懇親会

第2部 研究会関連現地視察 (フィールドワーク)

10月30日(日) 「感動!～南八甲田山麓にひろがる蔦の森、ちょうど見頃、国際観光としての“蔦沼”の紅葉」

10:00 参加者現地集合:「蔦沼温泉旅館」蔦沼(つたぬま)散策、温泉、昼食

防寒具、運動シューズ等持参

〒034-0301 青森県十和田市奥瀬 蔦沼

*当初予定であった八甲田山頂は、ややコンディションが良くないため、上記に変更。

13:00 現地解散